



議会だより

2012年5月1日発行

第32号



■ 臨時議会	3
■ 3月定例会	4
■ 一般質問 11議員が町政を問う	6
■ 委員会報告	15
■ 特別委員会報告、陳情、あしがき	16

うれしいな
ピカピカのこども園
(やばせこども園)

新体制スタート!

2月22日に臨時議会が開かれ、常任委員会などの2年毎の再編で担当が一新しました。また、金田副議長の辞任に伴い副議長選挙が実施され、前田智章議員が副議長に決定しました。



前田智章 新副議長

最善を尽くします

議員各位のご推挙により副議長の要職に就任させて頂くことになりました。重責を果たすべく最大限の努力を重ね、議会が「公平・公正」かつ円滑に運営されるよう最善を尽くす所存であります。

新しい琴浦町議会の構成



農林建設常任委員会
 委員長 手嶋正巳
 副委員長 山田義男
 委員 井木裕
 委員 桑本始
 委員 小椋正和
 委員 藤本則明



教育民生常任委員会
 委員長 藤堂裕史
 副委員長 語堂正範
 委員 石賀榮
 委員 大田友義
 委員 川本正一郎
 委員 高塚勝



総務常任委員会
 委員長 金田章
 副委員長 新藤登子
 委員 山下一成
 委員 前田智章
 委員 青亀壽宏
 委員 武尾頼信



事務局新体制

高力主任
 田中局長
 阿部局長補佐



広報特別委員会
 委員長 語堂正範
 副委員長 山田義男
 委員 青亀壽宏
 委員 手嶋正巳
 委員 藤堂裕史
 委員 新藤登子



議会運営委員会
 委員長 小椋正和
 副委員長 青亀壽宏
 委員 前田智章
 委員 金田章
 委員 手嶋正巳
 委員 藤堂裕史

臨時議会

平成24年 第1回臨時会 (1月25日)

区分	議案名	補正額	補正後	結果
予算	平成23年度一般会計補正予算(第8号) 1250万円の組み替え補正	0円	106億8676万円	可決
	平成23年度介護保険特別会計補正予算(第4号)	31万円	21億5326万円	可決
条例	税条例の一部改正			可決
その他	建設工事請負契約の締結〔第544号町道小田股線ダム1号線道路災害復旧工事〕 請負金額 8295万円			可決

平成24年 第2回臨時会 (2月22日)

区分	議案名	補正額	補正後	結果
予算	平成23年度一般会計補正予算(第9号)	526万円	106億9202万円	可決
	平成23年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	146万円	2億6303万円	可決
その他	建設工事請負契約の締結〔琴浦町新庁舎建設工事〕 請負金額 10億4475万円			可決
	建設工事請負契約の締結〔琴浦町新庁舎建設工事に係る機械設備工事〕 請負金額 1億6800万円			可決



新庁舎イメージ図



鳥取県町村議会議長会 会長表彰

2月21日に鳥取市にて自治功労者表彰式が開催され、青亀壽宏議員が、町議会議員として13年以上在籍し、功労があった者として表彰されました。今後とも活躍を期待します。

平成24年3月定例会

一般会計当初予算 賛成多数で可決

総額 103億5300万円

賛成13名 反対4名

一般会計当初予算に対する討論

反対 高塚 勝

同和地区を対象とした補助金や減免、町職員の雇用差別など、改善されていない点が多い。

賛成 新藤登子

ハード事業とソフト事業の盛り込みが充分になされている。厳しい財政状況の中で健全な推移である。

反対 青亀壽宏

工業団地の取得に税金をつぎ込むことや、伝送路の計画的な維持補修の遅れなど、改善すべき点が多い。

反対 井木 裕

一般会計の医師同乗システムの200万円は高額な金額である。不適切な支払いである。

賛成 前田智章

一般会計当初予算は的確に盛り込まれた予算である。

平成24年3月定例会が3月12日に招集され、3月23日までの12日間の日程で開催されました。初日には、陳情の各委員会への審査付託、町長提出議案の一括上程、提案理由説明と条例の一部改正9件が提案され、補正予算8件が先に審議され全員一致で可決されました。

3月13・14日は、11名の議員が一般質問を行い、3月15日には予算審議に対する総括質疑ならびに委員審査付託がなされました。

最終日となる23日、平成24年度一般会計予算をはじめとする当初予算9件、条例の制定1件、一部改正8件、廃止1件、その他9件の町長提案と、議員提出意見書5件を慎重に審議し、原案通り可決しました。

一般会計当初予算の概要

一般会計予算は、総額103億5300万円で、前年度の予算に対して4億5300万円、4.6%の増額予算となっています。

ハード事業の主なものは、新庁舎の建設、企業誘致事業、浦安地区保育園の基本設計事業、そして6次産業化総合支援事業などがあります。

ソフト事業の主なものは、定住外国人への支援事業、子育て支援として保育料第3子無料化の継続、高齢者肺炎球菌予防接種事業、障がい者支援事業、琴浦町輝け地域支援事業、都市計画では、一般住宅の耐震診断を行う琴浦町まちづくり促進事業、町民の生命・財産を守る非常備消防事業、また社会教育では、地域住民による青少年育成啓発事業、生活体験学習、文化活動、子育てネットワーク、家庭教育支援事業などを執行するための予算となっています。

平成24年 第3回定例会 (3月12日～23日)

区分	議案名	補正額	補正後	結果
平成23年度補正予算	一般会計補正予算(第10号)	▲1億1307万円	105億7895万円	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	3869万円	24億76万円	可決
	住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第3号) 30万円の組み替え	0円	7533万円	可決
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	▲206万円	2億6097万円	可決
	下水道事業特別会計補正予算(第4号)	1591万円	9億8816万円	可決
	介護保険特別会計補正予算(第5号)	201万円	21億5527万円	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	▲94万円	1億9281万円	可決
	水道事業会計補正予算(第4号)	収益的収入	▲169万円	2億6823万円
収益的支出		▲1825万円	2億2642万円	
資本的収入		▲754万円	1億7849万円	
資本的支出		▲1976万円	3億3733万円	
平成24年度当初予算			当初予算額	
	一般会計予算		103億5300万円	可決
	国民健康保険特別会計予算		23億4780万円	可決
	住宅新築資金等貸付事業特別会計予算		1327万円	可決
	農業集落排水事業特別会計予算		2億5670万円	可決
	下水道事業特別会計予算		11億9864万円	可決
	介護保険特別会計予算		22億467万円	可決
	後期高齢者医療特別会計予算		1億9346万円	可決
	琴浦町各財産区特別会計予算 8件		3407万円	可決
	水道事業会計予算	収益的収入		2億6910万円
収益的支出			2億4470万円	
資本的収入			3382万円	
資本的支出			2億3835万円	
条例	課設置条例の一部改正			可決
	介護保険条例の一部改正			可決
	町営住宅管理条例の一部改正			可決
	一向平キャンプ場条例の一部改正			可決
	図書館条例の一部改正			可決
	社会体育施設条例の一部改正			可決
	旧浦安幼稚園条例の制定			可決
	特別医療費助成条例の一部改正			可決
	障害者自立支援法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定			可決
赤碕診療所条例の廃止			可決	
その他	財産の無償譲渡(赤碕診療所)			可決
	財産の取得(下郷森藤団地用地)			可決
	町道路線の変更2件			可決
	町道路線の認定4件			可決
	町と鳥取県との間の職員の研修に関する事務の委託に関する規約			可決
	鳥取中部ふるさと広域連合規約の変更			可決
	倉吉市との間における定住自立圏形成協定の変更			可決
	第一次琴浦町総合計画基本計画(後期計画)の策定			可決
建設工事請負契約の締結[第460号一向橋橋梁災害復旧工事]			可決	
議員提出	議会委員会条例の一部改正			可決
	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書の提出			可決
	「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書の提出			可決
	地域医療と国立病院の充実を求める意見書の提出			可決
障害者総合福祉法(仮称)の制定を求める意見書の提出			可決	
陳情	陳情4件(16ページ参照)			

ここが聞きたい

一般質問 Q&A

質問議員	質問事項	掲載ページ
石賀 榮	①関西方面への農海産物の直売所について ②コーラスことうらについて ③赤碕駅の改築について	6
藤本 則明	①選挙ポスター掲示場の設置箇所数削除について ②いじめ、不登校について ③町政への取り組み姿勢について	7
青亀 壽宏	①ケーブルテレビの伝送路のこれからの維持・管理について ②国民健康保険の都道府県広域化で住民の命と健康が守られるのか	8
金田 章	①温泉方式プールを中心とした健康福祉施設について	9
山田 義男	①少子化、子育て支援について ②戸籍謄本等の不正取得について ③同和対策事業について	9
高塚 勝	①建設工事等の入札について ②町営バスについて ③琴浦パーキングエリアの物産館について ④高速道の町内主要施設案内表示について ⑤成人式について	10
手嶋 正巳	①赤碕地域コミュニティ施設多目的ホールの利用状況について ②新がん検査導入について	12
新藤 登子	①深めよう家族の「絆」を	12
小椋 正和	①県道船上山赤碕線について ②町道拡幅改良について	13
井木 裕	①温水プールについて	13
語堂 正範	①マンガ「琴浦さん」を活用した町のPRはできないか ②人・農地プランを作成してはどうか ③平岩記念会館の活用について	14

※詳しい内容については琴浦町ホームページ掲載の会議録をご覧ください。

A アンテナショップの設置など、町特産物を販売した。消費者からは高評価を受けたが、販売側のいろんな課題があり、直売所設置は困難

Q 生産者みずから直売することには急を要することである。現在までのどのような対応をされたのか。



石賀 榮 議員

困難であるが継続的な活動を展開したい

山下町長

関西方面の直売所設置はどうなっているのか

ととらえている。しかし、今後も特産品の知名度向上、販路拡大のため継続的に出店活動を展開したい。



守口市土居商店街で実施したアンテナショップ

コーポラスことうらの家賃を下げてもどうか

石賀議員

減額は困難である

山下町長



今年の3月現在80戸のうち74戸が入居されている。入居者からも要請されている家賃を安くしたい。町長の所見を伺う。



町管理前より家賃は安くなっている。周辺の民間賃貸住宅の入居の影響の観点からも更に減額は困難である。

コーポラス	
ことうら家賃(月額)	
1階～3階	3万円
4階	2万7千円
5階	2万4千円
駐車場(1台)	3千円



コーポラスことうら

赤碕駅改築はどうか

石賀議員

要望はしたい

山下町長



赤碕駅南道路が新設される。船上山の表玄関口である。赤碕駅も古くなっているが、駅改修にあたってはJRから助成金があるのか伺う。



昨今完成した倉吉駅舎の改修を例にとると、JR助成金のようなものはないと考える。また、赤碕駅の改築を町が事業主体となり実施することは考えていないが、JRに改修の要望はしたい。



赤碕駅

選挙ポスター掲示場の大幅削減を

再度点検したい

源内選挙管理委員長



藤本 則明 議員



現在118カ所の掲示場を3分の1程度に減らし、町財政の削減を図るべきと考えるが選挙管理委員長の所見を伺う。



合併時と比較すれば69カ所減少しているが、町費削減など留意する必要があるため、設置箇所を再度点検し見直せる場所は見直したい。



いじめ、不登校はあるのか

藤本議員

関係機関と連携し取り組んでいる

石前教育委員長

学校と一体となり取り組む

永田教育長

Q 町内の各小・中学校において、いじめ、不登校はあるのかどうか。

A 不登校問題に関しても関係機関と連携を取り改善に努めるよう指導している。

また、対応や対策はどうか。

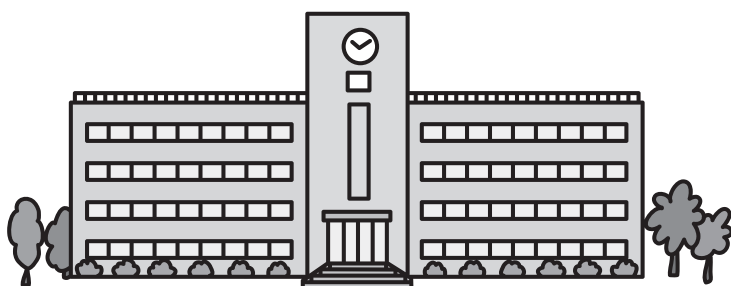
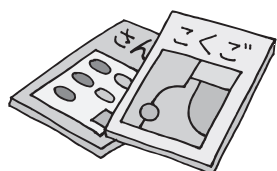
永田教育長

石前教育委員長

A 23年度、いじめが2件、不登校が3件報告されて、いずれも早く対応され改善が図られている。

いじめには毅然とした態度を示し関係家庭とも十分に連携し、親身な指導を行い、人間関係の修復や仲間づくりに取り組むよう指導している。

A いじめや不登校の未然防止をはじめ、早期発見早期対応が重要であり、学校でいじめを取り組みを行っている。今後も学校と一体となつてしっかりと取り組んでいきたい。



保育園

保護者と地域住民の声に応えよ

藤本議員

統合で整備すべきと判断した

山下町長

Q 人口増対策や人口減少の歯止め対策をどのように考えているのか伺う。

A 抜本的、即効的な少子化、人口増対策は大変困難な状況であるが、一つ一つ可能なことから手がけていくことが大切だと認識している。町総合計画のあらゆる事業施策が人口増を目指した取り組みで

保育者の統廃合は、保護者会、地域住民の要望に応えるべきと考えるが町長の所見を伺う。

ある。保育園は、園児数などを考慮し中長期的展望に立った時、統合保育園で施設整備すべきと判断した。建設位置について意見交換会を行いながら、引き続き理解を求めていきたい。

ケーブルテレビ網 計画的に「光化を」

調査・分析を行う

山下町長



青亀 壽宏 議員

Q 情報インフラとしてのケーブルテレビ網が故障も増え、更新期になつている。抜本的な維持・管理の基本方針の確立が急務だが、障害のもとになる機器が無い光ケーブル化に移行すべきではないか。

A 老朽化・財源などの問題は認識しているが、今年度は不具合箇所の対応を行い、合わせて今後に行う必要があると考えている。

ケーブルテレビ網が故障も増え、更新期になつている。抜本的な維持・管理の基本方針の確立が急務だが、障害のもとになる機器が無い光ケーブル化に移行すべきではないか。

国保の広域化 値上げ・無保険の危険

青亀議員

広域化による
平準化も必要

山下町長



Q 国は、国民健康保険の都道府県への「広域化」を目指している。広域化は国民健康保険の理念に反し、町の責任放棄にならないか。

A 広域化で一般会計から繰り入れがなくなれば国民健康保険税が急騰し、滞納による保険証の取上げで無保険につながる危険がある。反対すべきではないか。



A 現在、国民健康保険の広域化について検討が重ねられているが、現段階

では具体的な方向は示されていない。しかし、広域化による財政運営の安定化と保険税の平準化を図ることは必要であると考えます。また、町独自の施策は今まで以上に充実させていく必要があると考えています。

温泉式プールを中心とした健康福祉施設について

温水プールでいくべきと考えている

山下町長



金田 章 議員



Q ①町長は、温泉方式施設を望んでいないと言われたが、琴浦町の高齢者が補助を受け、湯梨浜町の温泉保養所を利用してしている。この現実をどう考えるか。

- ② 泉源調査から、業者に相談されたか。
- ③ ランニングコストを考えると温泉式が有利と考えるがどうか。
- ④ 財源の資料収集はさ



A ①リスクを考えると温泉式での施設は考えていない。健康増進・交流の場としての施設は必要と考えるので温水プールをと考えている。

- ② 泉源調査の結果、判断するには試掘が必要であるとの回答をもらっている。
- ③ 温泉であっても費用がかかる。試掘費用も考えると温水式でいくべきと考える。
- ④ 視察・資料収集も随時行っている。

少子化対策、子育て支援は講じているのか

町の重要課題として取り組んでいる

山下町長



山田 義男 議員



Q ①少子化対策、子育て支援のため町はどのような施策を講じているのか。

- ② 子育て支援センター、ファミリースポーツセンターの設置の成果、実績はどうなっているのか。
- ③ 不況の中、夫婦共働きで子育てをしている。放課後、休日保育の充実が不可欠であるが、町長はどう考えているのか。



A ①次世代育成支援行動計画を策定し、各種事業を実施している。

- ② 子育て支援センターは、1万1040人の利用があった。ファミリースポーツセンターは74人が利用しており利用促進の普及活動を行っている。
- ③ 放課後児童クラブは、5カ所あり、180人の児童が利用可能になっており、休日保育は倉吉市のパピール園に委託している。今後も子育て支援サービスの選択肢が広がるようにしたい。



戸籍不正取得防止 対策を強化せよ

山田議員

制度を導入・ 実施している

山下町長

Q 身元調査を許さない施策、条例制定などを考えるはないか。

登録型本人通知制度を導入したが、実績、効果はどうか。また、事前に本人に連絡はできないのか。

啓発など具体的な取り組みをもっとすべきではないか。

A 個別の案件に対し条例を

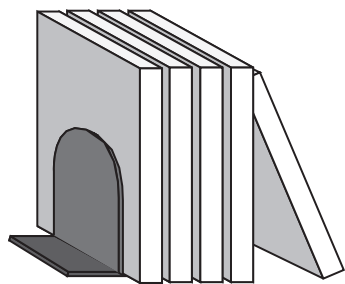
整備することは考えていない。人権について今ある条例で広く網羅されていると考える。

琴浦町でも平成23年度より登録型本人通知制度を導入し、現在22

名の登録があるが、本人通知はまだない。

事前連絡については現行法上今の取り扱いにならないざるを得ない。

啓発活動については機会をとらえて行っていきたい。



進学奨励金を増額できないか

山田議員

増額は考えていない

山下町長

Q 進学奨励金給付事業の奨励金の増額ができないか伺う。

A 従来5,000円であったものを、23年度から4,000円にしたが、対象を町全体に広げている。基準に適合する方には多く利用していただきたい。現時点の増額は考えていない。

新庁舎入札は違反では？

要綱にそったもので違反ではない

山下町長



高塚 勝 議員

Q 指名競争入札は、町の規則では3社以上で行う

ことになっているが、新庁舎建設工事入札は2社で行われた。これは規則違反ではないか？

A 財務規則を補完するもの

として要綱を定めており、その要綱にそって選定している。選定にあたっては町内企業であることを条件としており、町民の理解も得られると考えている。

町営バスをデマンドバスに

高塚議員

調査・研究していく

山下町長

Q 現在の運行は、経路にない集落や乗車人数が少ないなど課題がある。

※デマンドバスとは利用者の要望に応じて停留所に呼び寄せたり、停留所以外でも乗り降りができる仕組みのバス。

A 利用者として運

営側のメリット・デメリットを踏まえ、町民にとって便利で持続可能な生活交通を目指し、調査研究していく。

減、環境問題、利便性などを考えれば、デマンドバスを検討すべきでは。

琴浦パーキング 広場は駐車場に

高塚議員

申請・協議していく 山下町長



① 琴浦パーキングを「道の駅」に登録をと提言したが、その後の経過は。

② 物産館ことうらの前面の広場は、駐車場にすべきでは。

③ 琴浦パーキングの案内表示が不備である。もつと分かりやすい表示にすべきである。

① 琴浦パーキングを「道の駅」に登録をと提言したが、その後の経過は。今後利用状況などの客観的データを基に継続協議していく。

② 表示については早急に協議し対応する。



① 現時点で進展はないが、国土交通省に申請し協議する。

② 町からの改善要望も含め、国



物産館ことうら駐車場

インターの案内表示は？

高塚議員

現地を見て検討する 山下町長



① 各インターチェンジからの町内主要施設の案内表示をもつとすべきと提言したが、その後の取組状況は。

② 高速道路走行時でも見える、町内主要な施設の観光案内表示をすべきでは。



① カウベルホルの案内表示を追加した。それ以外については現地を見て検討する。

② 景観保護の観点から新たな看板設置は考えていない。



インターチェンジの案内板

これでいいのか成人式

高塚議員

厳粛に行っている 山下町長
特色ある成人式であると思っっている 永田教育長



町が主催する成人式は、もつと厳粛かつ成人としての自覚が出る内容とすべきであるが、町長、教育長の考えを伺う。



永田教育長 成人式は厳粛な雰囲気の中にも、人生の節目を晴れやかに祝う場であると考える。琴浦町では青年団もイベントを企画するなど活躍してくれており、特色ある式であると思っっている。

山下町長 成人式は2部構成となつており1部は厳粛に執行している。また2部についてはアンケートなどを参考にし、和やかな触れ合いの場となるよう企画している。

山下町長

成人式は2部構成となつており1部は厳粛に執行している。また2部についてはアンケートなどを参考にし、和やかな触れ合いの場となるよう企画している。



成人式

分庁舎内ホールは充分利用されているのか？

PRしていく

山下町長



手嶋 正巳 議員

Q 旧赤碓の
人々の熱い思
い、伝統、芸能、文化

など大いに利用しても
らうために約5億
5000万円かけて建
設された赤碓地域コミ
ュニティ施設の多目的
ホール。果たして十分
に利用されているの
か。

A 多目的ホー
ルは年間60
70回利用いただいでい
る。しかし設置目的で
ある文化・芸能、地域
活動への利用が十分で
ないことも認識してい
る。さらなるPRに努
める。

新がん検査を導入すべきでは

手嶋議員

がん検診の受診率向上を目指す

山下町長

Q 南部町で導
入されている
新がん検査は、少量の
採血で複数のがんを同
時に検査できる画期的
な検査方法である。

や医療費抑制などの効
果も期待できる。
琴浦町も導入をすべ
きと考えるが、町長の
所見を伺う。

査の精度や有用性が立
証されれば県への導入
要望も考えられる。
現時点では、がん検
診の受診率向上に努め
るべきと考える。

導入すれば、がん検
診の受診率向上に加
え、生活習慣病の予防

A 現在新がん
検査の導入は
考えていない。今後検

「家族の絆」を深める 取り組みを

積極的に取り組んでいる

取り組んでいる

山下町長

永田教育長



新藤 登子 議員

Q 定時退庁と
はいかない状
況の中、「家族の絆」
の大切さを考えるとき
ではないか。

職場・家庭・地域と
のかかわりの環境づく
りが求められる。
定時退庁を促進する
取り組みを行っていた
だきたい。
家族の日を定める考
えはないか。

A 琴浦町役場
では毎週水曜
日を定時退庁日と定
め、周知徹底を図って
いる。

新たな日を定めるこ
とは考えていない。

永田教育長

A 子育てしや
すい職場環境
づくりを努めている。

新たにその日を制定
するよりも、全県的に
認識されている毎月第
3日曜日の家庭の日の
取り組みを生かし、同
じ趣旨である10秒の愛
キャンペーンと連動さ



10秒の愛キャンペーンロゴマーク

県道289号線の改良計画を伺う

要望をしていく 山下町長



小椋 正和 議員

Q 県道船上山赤碕線について

今後の拡幅改良計画、歩道設置計画はどうなっているか。また危険箇所は改善はされているか。

以西バイパス道路の変則三叉路の改良について県に要請しているか。

A

平成24年度で一部工事発注の計画を予定している



以西バイパス道路変則三叉路

る。

歩道についても一部歩道整備が施工済みである。

危険箇所については、過去の経過を踏まえながら新たな展開を検討する必要がある。

現時点で三叉路の改良は考えていないが、主要幹線道路であるという認識は持っている。県への要望はしていく。

町道拡幅改良はどのようになっていくのか

小椋議員

危険箇所の解消に努める

山下町長

Q

①赤碕地区中村、国主間の改良計画はどうか。

②東伯岩本線は幅員が狭く年次的に改良すべきと考えるがどうか。

③小集落地区の道路改良の改善をどのように捉えているか。

A

①道路幅員は確保されている。舗装修繕事業を継続して実施している。

②現在、拡幅計画はないがガードレールなどの整備、災害復旧整備を進めているところである。

③費用対効果というも

のもあるが、小集落地区にも十分な配慮をすべきと考えている。



中村・国主間道路



温水プールについて

協議していく 山下町長



井木 裕 議員

Q

琴浦町総合計画後期分によると平成28年度までに温水プールをつくるとなっているが、総事業費・場所・管理方法に対する町長の所見を伺う。

A

財政推計もふまえ、今後委員会等を設置して各課題を慎重に協議していく。



マンガ「琴浦さん」を使用した町のPRはできないか

積極的にPR
していく

山下町長



語堂 正範 議員

Q 「琴浦さん」というマンガがある。このマンガの主人公である「琴浦春香」の由来は我が町、琴浦町からきている。我が町ではタイアップという形で平成24年度予算が上がってきているが、「琴浦さん」をどのように活かしていくかと考えられるのか町長の考えを伺う。



(C)enokids (C)MICRO MAGAZINE

A 鳥取県が推進する「まんが王国」とつとりと協調し、来年度から事業展開する予定である。作者・出版社の内諾も得ており、この機会を活用して全国に向けて町のPRを行っていく。

人・農地プランを作成してはどうか

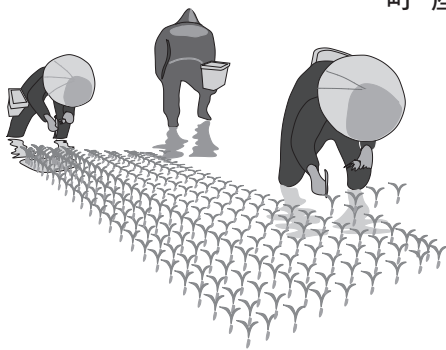
プランの策定を進める

山下町長

語堂議員



Q 平成24年度、国の農業政策として人・農地プランを作成する必要が高まっている、この人・農地プランを作成することに、青年就農給付金の経営開始型と農地集積協力金、スーパール資金の金利負担軽減措置を受けることができる、主産業が農業である琴浦町



では作成は急務と考えるが町長の考えを伺う。



A 新規就農者の増加に向けた推進を図るためにも、町全体のプランの策定を進めていきたい。

平岩記念会館の活用促進

利用促進を図る

山下町長

語堂議員



Q 平岩記念会館は集団宿泊、休憩、会議などを通じて町民の資質の向上、融和を図るなどを目的に設置されており、町民が広く活用できる施設であるが、この施設を合宿等のスポーツでの活用、また、観光を広める上での拠点、スポーツ観光や体験型観光などで使用する宿泊施設として活用できると考えるが町長の考えを伺う。



A 体験型イベントの導入や管理体制について柔軟な発想のもと、見直しについて検討していく。



平岩記念会館

委員会報告

総務

3月19日・21日の二日間、常任委員会を開催し、本会議において付託された平成24年度一般会計予算及び各財産区特別会計予算について活発な審議を行い次のとおり決した。

一般会計予算については賛成多数で承認され、各財産区特別会計予算は全員一致で承認された。

陳情第3号「住民の安全・安心



を支える公務公共サービスの体制、機能の充実を求める陳情書」は慎重に審査した結果、採択と決し、本会議にて可決後意見書を提出した。

委員長 金田 章

教育民生

議案説明会

3月9日に委員会に関係する平成24年度一般会計予算、特別会計



予算について教育委員会、町民生活課及び健康福祉課からヒアリングを実施。

陳情3件を採択

本会議において委員会に付託された議案を3月15日に協議、平成24年度一般会計予算（教育民生常任委員会に係る予算）及び特別会計予算（国民健康保険、住宅新築資金等貸付事業、介護保険、後期高齢者医療）について慎重に審議、賛成多数で承認とした。

同日、陳情3件についても審議を行い、「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の法制化を求める意見書と障害者総合福祉法（仮称）の制定を求める意見書は全会一致で採択、地域医療と国立病院の充実を求める意見書では国立病院の必要性を問う意見もあったが賛成多数で採択と決した。

委員長 藤堂裕史

農林建設

本会議において審査付託された平成24年度一般会計及び特別会計当初予算（農林建設関係）を慎重に審議し、全会一致で承認した。琴浦町の基幹産業である農林水産業と建設関連の振興に委員一同一致団結して努力していきたい。

委員長 手嶋正巳



議会基本条例 調査特別委員会

2月10日、議会基本条例制定に向けての研修会をまなびタウンにおいて開催した。「議会基本条例と議会の活性化」をテーマに鳥取大学の永山正男教授の講演を聴いた。

3月21日全国政策研究会の片山前総務大臣の講演収録ビデオを視聴した。

委員長 高塚 勝



永山教授講演

陳 情

[平成24年3月定例会]

番 号	件 名	提 出 者	委員会付託	結 果
陳情第1号	「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の法制化を求める意見書提出に関する陳情書	鳥取県精神障害家族会連合会 会長 濱崎 智熙	教育民生	採 択 意見書提出
陳情第2号	国民医療と国立病院の充実強化に関する陳情書	全日本国立医療労働組合 鳥取医療センター支部 支部長 杉谷 達恵	教育民生	採 択 意見書提出
陳情第3号	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	鳥取県国家公務員労働組合 共闘会議 議長 下田 陽司	総 務	採 択 意見書提出
陳情第4号	障害者総合福祉法（仮称）の制定を求める陳情	鳥取県ろうあ団体連合会 会長 萩原 耕三 鳥取県精神障害家族会連合会 会長 濱崎 智熙 きょうさんれん鳥取支部 支部長 森本 みどり	教育民生	採 択 意見書提出

議会広報特別委員会

委員長 語堂 正範
副委員長 山田 義男
委員 青亀 壽宏
委員 手嶋 正巳
委員 新藤 登子
委員 藤堂 裕史



(語堂 正範)

春寒しだいに緩き若葉の鮮やかな季節となりました、平素より議会だよりを読んで頂き心より御礼申し上げます。

この度、広報特別委員長を務めさせて頂くことになりました。議会広報の役割は町政を分かりやすく知ってもらうこと、また議員の活動に対し少しでも興味を持って頂くために存在するものだと考えます。

分かりにくいところは改善し、琴浦町の町政を少しでも身近な存在にしたいため努力したいと考えますので今後とも宜しく御願いたします。

